

イラクの人道状況概要

2009年12月24日現在

日本国際ボランティアセンター (JVC)

避難民の状況

2009年のイラクの総人口は、推定 2,900 万人とされている¹。一方、国外に逃れ、「難民」となっているイラク人は約 150 万人、治安の悪い地域から逃れて「国内避難民 (IDP)」となったイラク人は、約 290 万人とされている²。合計すると、戦争がもたらした暴力のため、避難生活を送っている人口は約 430 万人であるとされている。

居住環境

国際移住機関 (IOM) の 2009 年の報告書によると、IDP 世帯の 59%が借家住まいとされている。しかし、家賃が上昇し続け、生活を圧迫している。また、IDP 世帯の 18%は親族か友人の家に身を寄せており、受け入れ世帯のもとより厳しい家計に、大きな経済的な負担をもたらしている。IDP の 22%は簡易住宅に住む、あるいは公共の建物に住みついているが、公的機関や家主に立ち退きを迫られる恐れがある。IDP 世帯の 1%未満はテント住まいであり、借家に暮らす IDP は、飲料水や燃料供給、下水設備などといった基本的な公共サービスをきちんと提供されていないことが判明している。簡易住宅や公共の建物、テントなどに暮らしている IDP はさらに、健康や食糧などといった点で不安は大きい³。

以下の図では、IDP と非国内避難民 non-IDP (もとからの住民を指すと思われるが、要確認: JVC 註) を区別せず、イラクの都市部 (総人口の 67%) の住居やシェルターの状況が見られる。57%の居住状況はスラム的といえる⁴および⁵。

1 CIA Factbook, 2009 <<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/iz.html>>

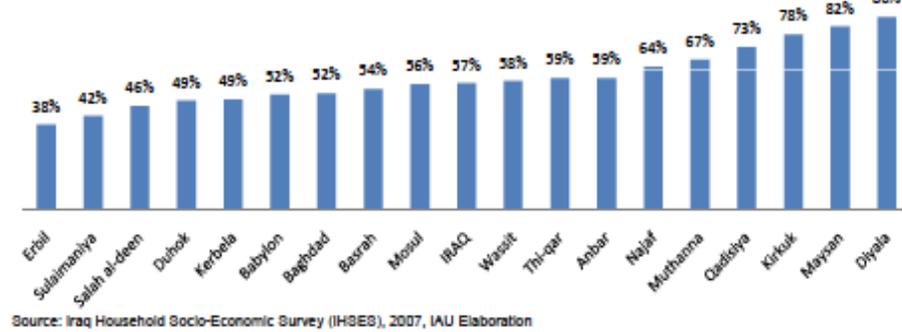
2 UNHCR, Iraq Operation Monthly Statistical Update on Return, June 2009

3 IOM, Monitoring and Needs Assessment, 2009

4 スラム的な状況とは、清潔な水、安全な下水設備、十分な居住スペース、住宅建築の質と耐久性、所有権の保障といった点のすべて、あるいは幾つかの要素が満たされていない状態で集住している状態。詳しい情報は UN-HABITAT, State of the World's Cities 2008/2009 – Harmonious Cities, 2008

5 IAU and UN-HABITAT, Fact Sheet – Housing & Shelter in Iraq (as of 05 Oct 2009), 2009

Households Living Under in Slum Condition (%)



出典：イラクの世帯に関する社会経済的調査（2007）

食糧・食糧配給制度の状況

イラクの人口のうち3%が、日常の食料を十分に確保できていない（food insecure）と考えられる。それとは別に、9.4%が政府の食料配給制度（PDS）に全面的に依存しており、PDSが停止すれば、日々の食料に事欠くようになると予想される。さらに、12.3%は比較的安定的に食料が得られているとされるものの、最貧困層（一日1ドル以下で生活）に含まれる層であるため、持続性があり、ニーズに合致した、セーフティネット・プログラムが設けられなければ、同様に食料を得られなくなる危険性が指摘されている⁶。

2008年、IDPに関しては、29%は食料配給制度により供給を受けており、49%は安定的にはないが供給を受けており、さらに21%は食糧配給制度の恩恵をまったく享受できていない、と報告されている⁷。

水・衛生の状況

世界食糧計画（WFP）による2008年の調査によれば、イラクの人口のうち22%が安定的に水を確保できていないことが判明している。その数値を県別に分析すると、スレイマニヤ県は90%、バスラ県では2%が安定的に飲料水が確保できていない、という地域間の著しい格差が分かる⁶。また下のグラフは、浄化された飲料水が使用できている割合を示したもので、ここからも地域間の格差が見てとれる。

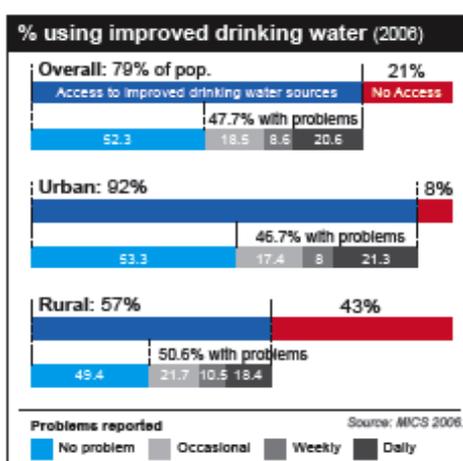
また、水質も必ずしも保障されていない。例えば、オクスファムによる2007年の報告書によると、2003年以降、飲用に適した水が確保できていない人口が50%から70%に達したことが明らかになった⁸。赤十字のレポートでも、70%が飲用に適した水を確保できていないと報告されている。さらに、最近のデータによると、2008年3月現在、生活排水の浄化率は、17%に留まるこ

⁶ United Nations World Food Programme: COMPREHENSIVE FOOD SECURITY AND VULNERABILITY ANALYSIS IN IRAQ, 2008

⁷ IOM, Iraq Displacement & Return, 2008 Mid-Year Review

⁸ Oxfam International, Rising to the Humanitarian Challenge in Iraq, 2007

<<http://www.oxfam.org/sites/www.oxfam.org/files/Rising%20to%20the%20humanitarian%20challenge%20in%20Iraq.pdf>> (Access: 2009/12/17)



出典：国連人道問題調整事務所（UNOCHA）（2009）

とが判明している⁹。

2007年に世界銀行（WB）と統計情報中央機関（COSIT）¹⁰が行った調査により、イラク国内の住居のうち49.9%は、昆虫やげっ歯類による衛生問題、36.3%は家の近くに垂れ流された排水、36.1%は近所に放置されたゴミの問題が問題視されている¹¹。下水の不適切な処理のため、2007年の後半にコレラの爆発的な流行が生じたと考えられ、4,700人程度が罹患したことが報告された¹⁰。

雇用の状況

国連機関の報告によると、2009年のイラクの失業率は18%とされている。無職でなくても、ほかに10%の国民はアルバイトなど臨時雇いであり、不十分な収入に不満を持っている¹²。

2008年のIOMの報告書によれば、66%のIDP世帯には、職を得ている家族が一人もいないとされている⁷。ディヤラ県のIDP世帯の58%と、バグダッド県のIDPの60%は、収入が確保されないまま生活しているが、その数字はまだ比較的良いほうである。

さらに好ましくない状況にある県として、キルクーク県（99%）とカーディーシーヤ県（97%）、バスラ県（94%）、ワーシト県（84%）が挙げられる¹³。

保健の状況

2007年の世界銀行とCOSITの調査によると、この年結婚した女性の中で、39.7%が最近2年間に妊娠した¹¹。2007年の世界保健機関（WHO）報告書によると、イラクの妊産婦死亡率は100,000人に対し84を示している¹⁴。ヨルダン（41/10万）とシリア（65/10万）と比較すると、イラクの死亡率は著しく高いことが分かる¹⁵。また同報告書では出生率は0.173%、死産率は

⁹ UNICEF, Sanitation becoming luxury in Iraq, 2008
http://www.unicef.org/media/media_43307.html (Access: 2009/12/18)

¹⁰ Central Organization for Statistics and Technology Information: イラク政府関係の統計機構である。詳しく：
<http://cosit.gov.iq/english/>

¹¹ World Bank and COSIT, Iraq Household Socio-Economic Survey IHSES – 2007, 2007

¹² Inter Agency Information and analysis Unit, Iraq Labour Force Analysis 2003-2008, January 2009

¹³ IOM, Press Briefing Notes, Tuesday 15 September 2009

¹⁴ WHO, Iraq Family Health Survey Report IFHS 2007, 2007

¹⁵ IAU and OCHA, The Humanitarian Situation in Iraq, 2009

10.9%とされている。以下は、1歳未満乳幼児の死亡率と5歳未満乳幼児の死亡率の統計である¹⁵。

Table 25: Indirect childhood mortality (per 1000 live birth)

All Iraq			South/Centre			Kurdistan		
time	1q0	5q0	time	1q0	5q0	time	1q0	5q0
2005.7	41.4	58.9	2005.7	39.3	56.0	2006.0	87.1	121.5
2004.6	38.2	54.4	2004.5	37.7	53.7	2005.1	43.2	61.4
2003.0	36.3	51.7	2002.8	33.4	47.7	2003.9	57.8	81.6
2001.0	34.2	48.8	2000.7	32.3	46.1	2002.4	46.7	66.3
1998.9	36.9	52.6	1998.5	34.6	49.3	2000.7	49.5	70.2
1996.4	41.2	58.6	1995.9	39.8	56.6	1998.5	49.4	70.0
1993.5	46.2	65.6	1993.0	43.9	62.3	1995.5	61.1	86.1

1q0= Under one
5q0= Under five

乳幼児死亡率（出生 1000 に対して）出典：WHO（2007）

教育の状況

満 10 歳以上のイラク国民に占める識字率は、80.9%である。小学校通学年齢にあたる子どもたちの中で、通学を断念した子どもたちは、総数で 76 万人にのぼることが、2006 年に発表された¹⁶が、2007 年の UNESCO による公式発表では、小学校学齢期にあたる避難民の子どもたち 22 万人のうちの多くが、通学を中断せざるを得ない状態とされた。

以上